

議 事 要 旨 記 録 票

日 時	令和6年2月20日（火） 10時～12時
場 所	防災情報センター 災害対策本部室
会議件名	令和5年度 第3回 日野市子どもの貧困対策推進委員会・庁内連絡会
主な議題	第2期日野市子どもの貧困対策に関する事業の進捗状況について
参加者	<p>■推進委員会委員〈学識経験者〉福田 憲明（委員長）、小田川 華子（副委員長）、〈市民委員〉平田 康代、星野 美智代、藤浪 里佳</p> <p>〈子どもの貧困対策に関する活動を行っている者〉阿部 智子、岩谷 健治</p> <p>〈小中学校の代表者〉川島 清美、大西 浩之〈市職員〉中田 秀幸、村田 幹生、山下 義之</p> <p>■庁内連絡会委員 企画経営課長、納税課長、産業振興課長、生活福祉課長、健康課長、保育課長、子ども家庭支援センター長、福祉政策課長、子育て課長、教育部統括指導主事、学務課長、庶務課長、教育部参事（生涯学習課長事務取扱）、教育指導課主幹</p> <p>■事務局〈副市長〉波戸尚子〈セーフティネットコールセンター長〉篠野亨</p> <p>〈副主幹〉地下有可里〈主査〉鳥井山さと里〈係長〉小林 拓也</p> <p>〈主任〉吉岡 典子〈主事〉青木勉</p>
配布資料	<p>資 料 1-1 令和5年度子どもの貧困対策に関する職員研修実施報告及び令和6年度職員研修について</p> <p>資 料 1-2 令和5年度職員研修当日配布名札</p> <p>資 料 1-3 令和5年度職員研修当日ワークシート及びワークシート回答</p> <p>資 料 2-1 第2期日野市子どもの貧困対策に関する基本方針、子ども向けリーフレット配布報告</p> <p>資 料 2-2 配布先一覧</p> <p>資 料 2-3① 子ども向けリーフレットサンプル</p> <p>資 料 2-3② リーフレット追加依頼フォーム</p> <p>資 料 3-1① 基本方針に関する事業進捗状況管理表 基本的な方向性1</p> <p>資 料 3-1② 基本方針に関する事業進捗状況管理表 基本的な方向性2</p> <p>資 料 3-1③ 基本方針に関する事業進捗状況管理表 基本的な方向性3</p> <p>資 料 3-1④ 基本方針に関する事業進捗状況管理表 基本的な方向性4</p> <p>資 料 3-1⑤ 基本方針に関する事業進捗状況管理表 基本的な方向性5</p> <p>資 料 3-2 子どもの権利に関する新たな施策展開の進捗について【福祉政策課】</p> <p>資 料 3-3 雇用、就労の総合的支援調査結果【産業振興課】</p> <p>資 料 3-4 市内子ども食堂一覧【子育て課】</p> <p>資 料 3-5 市内無料塾一覧【セーフティネットコールセンター】</p>

<p>結 果</p>	<ul style="list-style-type: none"> ○ 了承(意見なし) ● 了承(意見あり) ○ 要修正・再説明 ○ 不承諾 ○ 情報共有のみ <div style="margin-left: 150px;"> <p>} いずれかに該当する場合は「主な内容」欄に 意見要旨を記載</p> </div>
<p>主な内容</p>	<p>◇次第内容</p> <p><u>1. 令和5年度日野市子どもの貧困対策に関する職員研修実施報告及び令和6年度職員研修について（報告・協議）（資料1-1・1-2・1-3）</u></p> <p>事務局より、今年度職員研修についての実施報告を行った。また当日講師を務めていただいた小田川副委員長及び阿部委員よりご感想を頂いた。 また令和6年度職員研修について現時点での事務局としての案を報告し、推進委員より、ご意見・ご感想を頂いた。</p> <ul style="list-style-type: none"> ①（岩谷委員）名札はいいアイデアだと思う（感想）。 ②（藤浪委員）「現場は市役所の中にもある」市役所の窓口等、市民対応について直接、市民と接している職員の現場のリアルも、意見交換の場があるといい（意見）。 ③（福田委員長）グループワークはぜひ継続。熱量の低い人にも伝えられるような方法（例えばまずは情報に触れてみる等）があると尚よい（意見）。 <p><u>2. 「第2期日野市子どもの貧困対策に関する基本方針」子ども向けリーフレット配布状況等について（報告）（資料2-1・2-2・2-3①・2-3②）</u></p> <p>事務局より、子ども向けリーフレットの配布状況についての現状の課題と、今後の予定、配布方法について報告した。推進委員より、ご意見を頂いた。</p> <ul style="list-style-type: none"> ①（阿部委員）高校に行けない子どもが増えている中、現状高校生世代の居場所が少ない。義務教育後の居場所についての検討が必要（意見）。 ➡（熊澤子ども家庭支援センター長）「みらいく」に高校生世代用の居場所を開設予定。学習スペースや、ゆったりと過ごせる居場所として使ってもらえるようにする予定。 ➡（飯倉子育て課長）児童館は18歳までが対象ではあるが、高校生世代は利用し難いのが実情。スタッフ側に回ってもらうケースもある。今後南平、多摩平児童館は開館時間を19時まで延長し、中高生世代に対応する。また、万願寺児童館を建て替え、中高生支援の拠点となるよう検討中と、順次中高生向けの支援を増やしていく予定。

3. 「第2期日野市子どもの貧困対策に関する基本方針」に関する事業の進捗等について（報告）（資料3-1①・3-1②・3-1③・3-1④・3-1⑤・3-2・3-3・3-4・3-5）

事務局にて事業進捗状況管理表より何点か説明した後、福祉政策課長より「子どもの権利に関する新たな施策展開の進捗について」、産業振興課長より「雇用、就労の総合的支援調査結果」、子育て課長より「市内の子ども食堂について」、事務局より「市内の無料塾について」それぞれ説明を行った。

推進委員より、ご意見を頂いた。

①（星野委員）資料3-1②2104 朝食を欠食した子への軽食の無料提供は、子ども自身が希望して行っているのか、それとも親が行かせているのか。また、資料3-2 パブリックコメントの回答に関して、子どもオンブズパーソンに比べてヤングケアラー支援について意見数が少なく、世間の関心が低いように感じるが、今後の課題や、施策として何か考えているか。研修等を通じて庁内での共有も進めていくべき（質問・意見）。

➡（地下副主幹）朝食支援に関しては初回が3/13の為、現時点では不明だが、困窮している世帯を把握しており、直接実施団体が迎えに行っているケースもある。子どもに関心のない親に対しては、学校でチラシを配布し、子ども自身が情報を得られるようにする。親自身が病気であったり共働きで朝食を作れない場合、地域でチラシを配布し、親に対して情報を伝えたいと伺っている。

➡（松田福祉政策課長）ヤングケアラーの問題について、社会的認知度が低く、周りの大人が気づきづらいというのが実情。周りの大人が気付けるような周知・啓発活動を、今後市として令和6年度から3年間かけて進めていく計画。

②（藤浪委員）元ヤングケアラーの方に話を聞いたことがあるが、当時は当たり前だと思っていた為、「ヤングケアラー」という言葉が好きではない。支援される存在という伝え方ではなく、子どもの権利擁護として、遊ぶ権利・休む権利・学ぶ権利を守るという伝え方が大事（意見）。

③（平田委員）研修で現場を知りたいと思ってもらえたことはうれしい。長期休業中等に高校生がおむすびキッチンに手伝いに来ていたが、それもひとつの居場所となっている。6年前におむすびキッチンに来ていた子たちが大きくなり、子ども食堂をやっているという報告を聞いて嬉しく思う。子ども食堂の補助金は助かっている。しかし子ども食堂が増えることと反比例し、フードバンク TAMA の負担が大きくなっている。フードバン

	<p>ク TAMA が無いと子ども食堂を続けるのは難しくなるためぜひご支援をお願いしたい(意見)。</p> <p><u>4. その他 (事務連絡)</u></p> <p>事務局より今後の予定について報告。 次回委員会開催は令和6年7月24日(水)14時から16時、災害対策本部室にて開催する。</p> <p>小田川副委員長よりご意見を頂いた。</p> <p>① (小田川副委員長) 雇用・就労についての資料が良かった。学校に行っていない高校生の居場所の話があったが、そういった子の居場所としての就労支援や、ほっともに関わる保護者の方などの就労についての支援が必要。従来の就労支援では、ハローワークを通すことが多く、履歴書の作成などハードルが高い。その為求人している企業、農家さんに、誰でもできそうな仕事を作業単位で切り出してもらい、やってみたい人にマッチングさせるような、敷居の低い、履歴書のいらぬ就労支援が必要だと思う(意見)。</p>
作成者	セーフティネットコールセンター